

「市長記者会見」の概要

■日時 令和4年5月30日（月）午後1時30分

■会場 千曲市役所 庁議室・応接会議室

■報道出席者

信濃毎日新聞、ちくま未来新聞、(株)信州ケーブルテレビジョン、屋代有線放送、読売新聞、新
建新聞、長野市民新聞、長野放送

■質疑応答

【ちくま環境エネルギーセンター本稼働開始及び施設見学会の開催について】

問 具体的には、どういう施設を見学できるのか

回答 見学できる施設は、ちくま環境エネルギーセンターのごみ焼却施設で、ごみピットや焼
却炉、機械・装置などを見学することができる。

問 6月1日の本稼働日は式典等の予定はあるか。

回答 本稼働日は特に式典等は予定していないが、6月5日（日）に「ちくま環境エネルギー
センター」及び Re SPA シンコースポーツ（千曲市余熱利用施設）の竣工式と Re SPA シン
コースポーツの開館イベントの実施を予定している。

問 長野広域連合のごみ焼却施設はいくつあるのか。

回答 既に稼働している長野市大豆島にある「ながの環境エネルギーセンター」に続き、「ちく
ま環境エネルギーセンター」が2施設目になる。

問 （ごみ処理施設の建設は）ごみの量が増えてきたということか。

回答 今までは坂城町にある葛尾組合の焼却施設で可燃ごみの処理をしていたが、今後は長野
広域連合に移管して長野市南部地域も含めてごみ処理を行うもの。

【第2弾千曲市推し店プラチナチケット事業の実施】

問 今回が第2弾ということだが、昨年の9月から12月に実施した第1弾では、事業者や利
用者の反応や効果は。

回答 第1弾については大変好評で、是非また実施してほしい旨の声を多く寄せられた。

問 効果については。

回答 事業者や利用者から第2弾の実施を望む声が多く寄せられたことから、消費喚起の効果
があったものと考えている。

問 第2弾の実施をこのタイミングにした理由は。

回答 予算の関係もあるが制度設計やチケットの印刷期間などもあり、今年度は6月からとし、
市報等の周知期間も含め6月11日（土）とさせていただいた。

問 1冊5,000円の額面で500円の10枚綴りということで良いか。

回答 そのとおり。

問 購入する際の上限は。

回答 1人2冊まで。

問 各店舗等での配布冊数は。

回答 売り上げにより上限が100冊までと200冊までの二つに分けている。上限の中で希望される冊数を配布する。

問 販売する対象は千曲市民ということで良いか。

回答 消費喚起を目的としているため、千曲市民に限らず市外の人でも購入できる。

問 チラシに掲載されている約300店舗が対象ということで良いか。

回答 チラシに掲載された店舗は現時点での加盟店であり、随時更新していく予定。

問 予算は。

回答 発行総額は約2億円で補助額が6,000万円。

問 長引く新型コロナウイルス感染症に対し経済の面での市長の考えは。

回答 押し店プラチナチケットは大変好評であり、行動制限が緩和されてきたことから更なる起爆剤となればと思っている。

【千曲橋ライトアップ事業の再開について】

問 点灯することによる効果は。

回答 姨捨駅からの夜景イメージ写真等を用意しましたのでご覧ください。千曲橋の斜張橋に明かりが灯り、姨捨からの夜景が更に魅力的になる効果があると思っている。

問 LEDの色と照明灯の数は。

回答 LEDの色は白色で照明灯の数は32基。

問 本事業（ライトアップ）はいつから実施しているのか。

回答 平成8年から実施している。

問 ライトアップの再開は、市民からの要望が強かったのか。

回答 そのとおり。

問 昨今の電気料金の値上げや石油価格の上昇などの中での再開は、反対の声なども予想されるが、その点は大丈夫か。

回答 再開後の反響は予想されることだが、市のシンボルとして、また市民の心の拠り所としての役割を担えるものと思われることから、丁寧な説明をする中で理解を求めたい。

問 事業主体と事業費は。

回答 市が事業主体だが県の協力をいただいている。事業費は527万5,000円

【新型コロナワクチン4回目（追加）接種について】

問 4回目の接種は今回が初めての実施か。

回答 そのとおり。7月からの実施となる。

問 60歳未満の人（基礎疾患を有する人）の予定は。

回答 （基礎疾患を有する人は）基本的に自己申告となるため、今のところは未定。

問 集団接種か個別接種は選択できるということで良いか。

回答 そのとおり。

問 使用するワクチンの種類は。

回答 3回目と同様、モデルナ社製とファイザー社製の2種類。

問 集団接種でモデルナ社製を使用するというので良いか。

回答 概ね3回目接種と同様に集団接種はモデルナ社製、診療所での個別接種はファイザー社製を予定しているが、県からのワクチン供給の配布数により調整したい。

問 まだ3回目接種を行っていない人の接種は引き続き可能か。

回答 希望する人への接種は概ね完了しているが、予約により接種できる。

問 接種対象となる人数は。

回答 65歳以上の人約1万7,000人以上、60歳から64歳の人約3,000人。基礎疾患のある人は市では直接把握していないが、概ね3,000人から4,000人を想定している。

問 全国各地でワクチン廃棄について問題となっているが、千曲市はこれまでに廃棄したものや使用期限等による廃棄予定のワクチンはあるか。

回答 一つのロットで6人から10人に接種できるが、体調不良等により急に接種ができなくなったケースなどの少量（数回分程度）の廃棄はあったが、大量廃棄などの事例はない。使用期限等による廃棄の予定もない。

問 3回目の接種率は。

回答 5月27日現在で12歳以上の人75.9%、65歳以上の人95.3%。

【令和4年第2回（6月）千曲市議会定例会の日程及び提出議案】

問 令和4年度千曲市一般会計補正予算（第2号）で特に力を入れているものは。

回答 今回の補正については、国・県の補助金（交付金）が確定したもの等についての予算計上が主なものだが、「ちくま割」については非常に好評であり、旅館宿泊関係の方からの要望もいただいたことから、緊急で必要なものとして追加し、切れ目のない経済支援策に力を入れた。

問 「ちくま割」は新規ということか。

回答 4月1日から行っている第2弾の追加（延長）分となる。

【市政全般について】

①高校再編について

問 今、議論に上がっている高校再編について、屋代南高校も対象になっているが、市長の受け止めは。

回答 地域の子ども達の多様な学び場を千曲市内に残してほしいというのが、私をはじめ多くの方々の願いである。その意味でも今回の発表は、歴史ある屋代南高校の名前がなくなることに加え、要望していた多部制単位制についても4区での設置がなかったことは残念である。今後も今の屋代南高校の場所に子ども達の将来を見据えた新しい学び場を残していただくよう、引き続き働きかけをしていきたい。

問 具体的な概要は聞いているか。

回答 県教育委員会の発表以上のことは聞いていない。

問 校舎をどこにするか等の希望をこれから上げていくとのことだが、具体的な要望内容は決まっているか。

回答 それを昨年、県教育委員会に提案・要望書として提出した。具体的には今の屋代南高校の場所に、ライフデザイン科に加え新しく情報関係、福祉関係といった学科を希望するとともに多部制単位制も併設してほしいという内容。

問 昨年の要望に対し県教育委員会からのリアクションはあったのか。

回答 県教育委員会の発表以外のリアクションはない。多部制単位制については、3区の長野東高校に設置するとのことであり残念に思っている。多部制単位制で学ぶことは、多様な学び場として様々な状況に置かれている方が学ぶ場であり、単なる地図上の北信地域の地理的な中心ではなく、時間距離で考えていただきたいと思っていた。

屋代南高校は北信地域では南に位置するが、屋代駅から徒歩5分という交通の便の良い場所にあり、実質の移動時間は長野東高校より便利ではないかと思っており、それが受け入れられなかったことは非常に残念である。

ただ、新設される長野千曲総合技術新校（仮称）に千曲という字が入っていることから、改めて県に強く働きかけていきたい。

問 改めて市長としてどのような学校にしてほしいと考えているか。

回答 先にも述べたが、多様な学び場として、色々な環境の中で高校卒業の資格を得たいという子ども達の学ぶ場と新しい社会ニーズに対応できる学科、情報関係や福祉関係、そして屋代南高校の伝統のライフデザイン科（旧被服科）など、この屋代南高校の場所に新しい学びができる学校として、残してほしいと思っている。

問 多部制単位制と複数キャンパスのいずれも受け入れられなかったことについては。

回答 複数キャンパスが受け入れられなかったかについては承知していない。屋代南高校と更級農業高校、松代高校の商業科の3つを合わせた総合技術新校ということ以外は聞いていない。複数キャンパスについては、私が会長を務める「屋代南高校を発展させる会」で提案・要望書を提出し、例えば屋代南高校の場所にライフデザイン科と情報科、福祉科といった学科を作り、更級農業高校の場所に農業科や商業科などの学科を作るなど、別に学校名が一つでも校舎自体は1か所にする必要はないという考えで、あえてキャンパスと称して提案したもの。複数キャンパス制であっても学科横断的な学びとしてオンラインでできることから、併せて研究してほしいという趣旨。

屋代南高校の場所に何らかの形で学ぶ場所を維持してほしいというのが私の願い市民の願いであり、千曲市の人口規模からも県立高校が1校ということはおかしいことから、県教育委員会にはこれまでの提案も踏まえ、強く働きかけていきたい。

問 今後の働きかけと具体的に何か求めて行くことはあるか。

回答 提案・要望書を既に提出していることと、県教育委員会の詳細な説明も受けていないことから、今後予定される住民説明会が始まるまでの間に、「屋代南高校を発展させる会」としてのどのように活動していくかを決めていきたい。

問 住民説明会の日時、場所は決まっているか。

回答 主催は県教育委員会であると理解しているが、具体的には決まっていない。

問 今回の発表を受けて、戦略の転換は考えているか。

回答 私の独断では考えていないが、そういうことも含め「屋代南高校を発展させる会」で協議をしていくものと認識している。

問 県教育委員会から示された第3次の計画案では、農業科、商業科、家庭科、DX等に対応するデジタル系学科と明記されているが、千曲市として、デジタル強化について訴求力やPRポイントはありますか。

回答 提案・要望書の中身がまさにそれであり、DX関係の情報科が明記されたということは希望が持てるものと思っている。

②山口県阿武町で発生した誤振込問題に伴う千曲市の対応について

問 山口県阿武町で誤振込があったが、千曲市では近年同様な事例はあったか。

回答 近年、そういった事例はない。

問 誤振込などのミスの発生を防止する措置は必要と思うが、千曲市として何か特別な対応はしたか。

回答 今回の報道を受けて、千曲市としても伝票等の二重チェック体制の強化について、改めて部長会議で指示、徹底を行った。

問 山口県阿武町ではフロッピーディスクを使っていたとのことで驚いたが、千曲市ではそういった事例はあるか。

回答 そのような事例はない。

③屋代地区開発について

問 屋代地区開発についての現状と、今後の進め方は。

回答 屋代地区の大規模開発については、基本的には民間開発であり地権者の合意が得られた段階で、市としてどのように関わっていくのかを考えていきたい。

終了 午後2時37分